

君みつしのふところ具合は

～令和6年度 決算をもちいて～

普段なじみの薄い市の財政状況について、令和6年度決算をもとに、できるだけわかりやすく説明します。

君津市
マスコットキャラクター
きみびよん



1. 決算とは？会計の種類や金額は？

令和6年度各会計の決算額

(単位:千円・%)

会計の種類	歳入総額 (A)		歳出総額 (B)		歳入歳出差引額 (A) - (B)	
	金額	前年比	金額	前年比	金額	前年比
一般会計	39,080,159	0.7	37,527,091	1.6	1,553,068	△ 17.7
国民健康保険特別会計 (事業勘定) ※保険の運営に係るものです。	8,669,109	△ 5.5	8,490,129	△ 3.3	178,980	△ 54.1
国民健康保険特別会計 (直営診療施設勘定) ※市内2診療所に係るものです。	87,124	△ 3.1	82,347	△ 1.5	4,777	△ 24.2
介護保険特別会計	7,845,739	1.9	7,405,164	0.2	440,575	41.5
後期高齢者医療特別会計	1,352,300	4.8	1,347,025	4.8	5,275	△ 0.5
合計	57,034,431	△ 0.1	54,851,757	0.7	2,182,674	△ 16.1

※ 表示単位未満を四捨五入しているため、計算の積み上げと合計が一致しない場合があります。

一般会計とは？

福祉、教育、防災対策、道路整備など、市の基本的な行政サービスを行う会計のことをいいます。

特別会計とは？

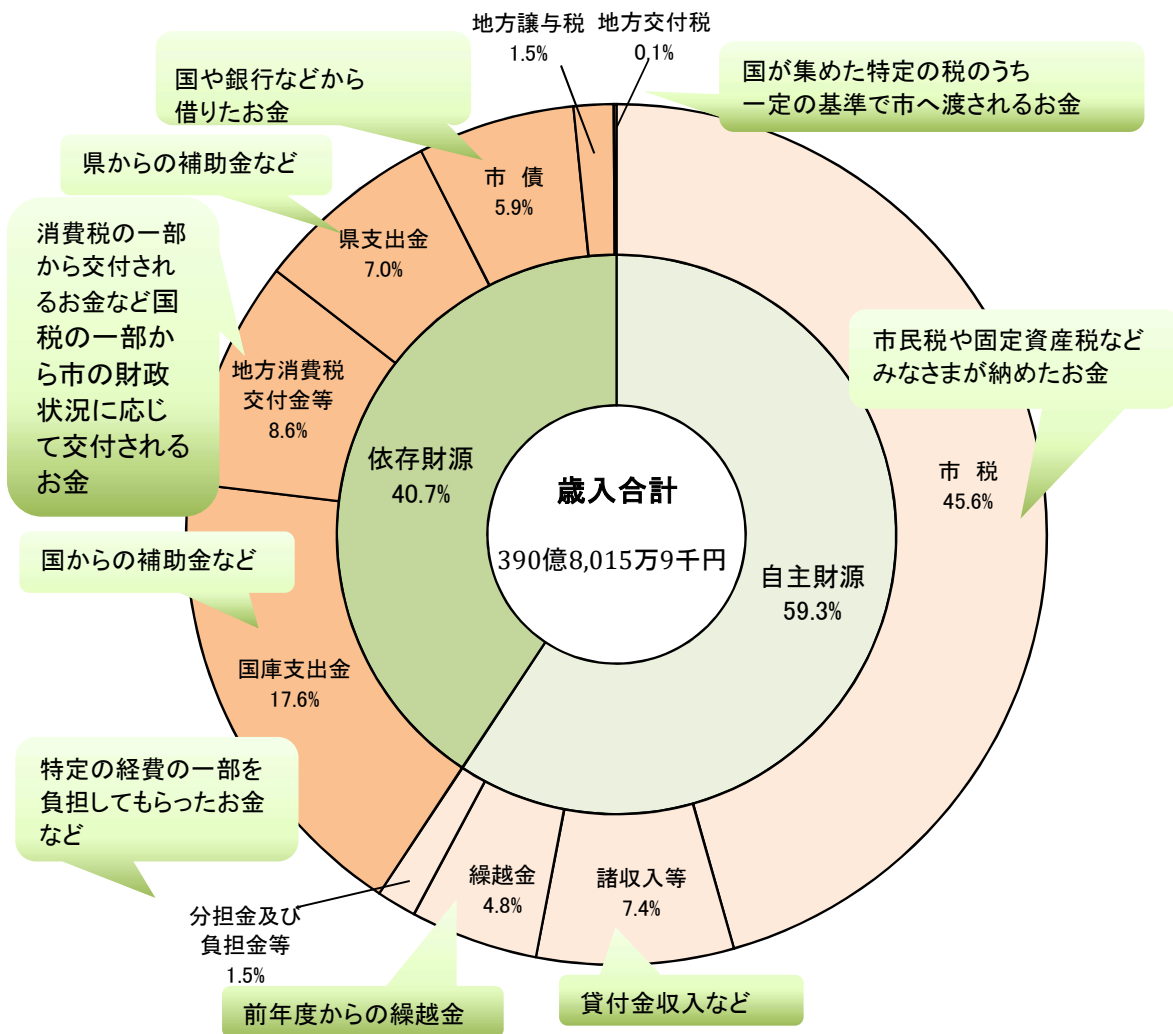
国民健康保険税や介護保険料など特定の収入で、特定の事業を行う場合に設ける会計のことをいいます。

公営企業会計とは？

地方自治体が経営する公営企業において、民間企業と同様の複式簿記を用いて損益や財政状態を明確にする会計制度です。

2. 入ってくるお金（歳入）ってどんなものがあるの？その金額は？

市の歳入には、みなさまから納付していただく市税（市民税や固定資産税など）のほかに、特定の事業の経費の一部として国や県から交付されるもの（国庫支出金と県支出金）や、道路や学校などを建設、改修する際に国や銀行から借りることができる借金（市債）などがあります。それぞれの決算額は以下のとおりです。



- (1) 地方消費税交付金等 : 地方消費税交付金・利子割交付金・配当割交付金・株式等譲渡所得割交付金・法人事業税交付金・ゴルフ場利用税交付金・自動車取得税交付金・環境性能割交付金・地方特例交付金・交通安全対策特別交付金
- (2) 分担金及び負担金等 : 分担金及び負担金・使用料及び手数料
- (3) 諸収入等 : 諸収入・財産収入・寄附金・繰入金

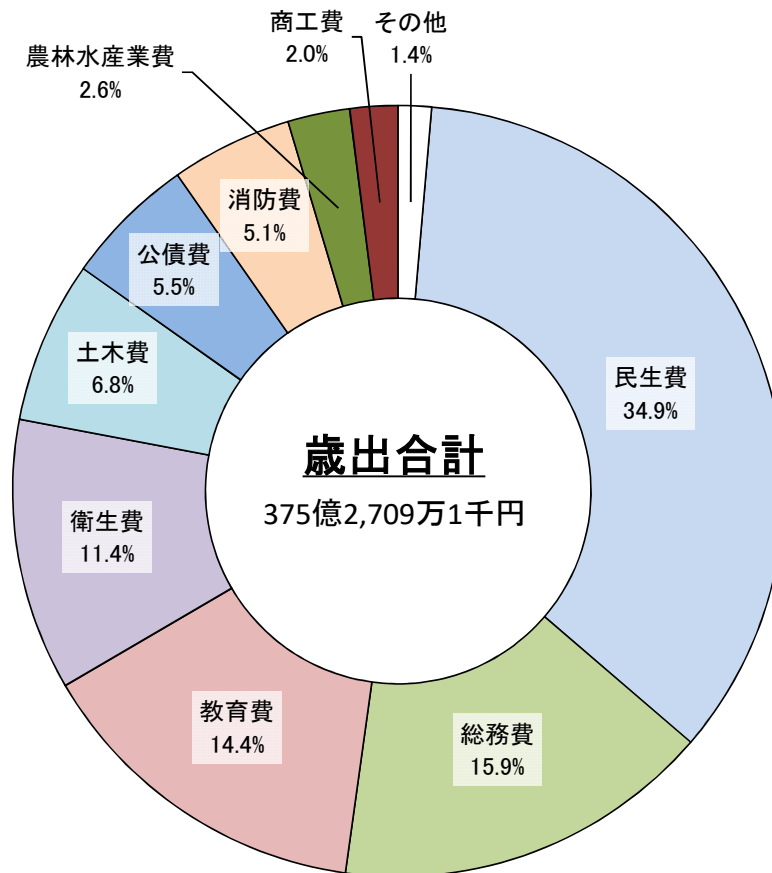
令和6年度歳入決算額（一般会計）

（単位：千円・％）

款	決算額 (A)	構成比	前年度決算額 (B)	比較 (A)-(B)
1 市税	17,795,980	45.6	18,155,628	△ 359,648
2 地方譲与税	585,502	1.5	578,687	6,815
3 利子割交付金	6,574	0.0	5,831	743
4 配当割交付金	110,698	0.3	82,560	28,138
5 株式等譲渡所得割交付金	165,822	0.4	98,644	67,178
6 法人事業税交付金	228,580	0.6	206,805	21,775
7 地方消費税交付金	2,181,213	5.6	2,110,594	70,619
8 ゴルフ場利用税交付金	146,553	0.4	147,901	△ 1,348
9 自動車取得税交付金	0	0.0	3,654	△ 3,654
10 環境性能割交付金	61,994	0.2	52,010	9,984
11 地方特例交付金	431,003	1.1	68,920	362,083
12 地方交付税	59,787	0.1	614,926	△ 555,139
13 交通安全対策特別交付金	9,481	0.0	9,669	△ 188
14 分担金及び負担金	155,024	0.4	155,618	△ 594
15 使用料及び手数料	429,148	1.1	426,302	2,846
16 国庫支出金	6,894,456	17.6	6,025,875	868,581
17 県支出金	2,720,785	7.0	2,553,067	167,718
18 財産収入	81,948	0.2	119,038	△ 37,090
19 寄附金	364,876	0.9	364,011	865
20 繰入金	1,324,450	3.4	2,046,548	△ 722,098
21 繰越金	1,886,779	4.8	1,345,100	541,679
22 諸収入	1,144,406	2.9	955,777	188,629
23 市債	2,295,100	5.9	2,679,300	△ 384,200
歳入合計	39,080,159	100.0	38,806,465	273,694

3. どんなことにお金が使われたの？その金額は？

ごみ処理に関する経費、バスの運行、小学校・中学校に関する経費、高齢者福祉費、保育園関係費、生活保護に関する経費のほかに、消防・防災に関する経費など、多岐にわたってみなさまの生活に関係するものに使われています。それぞれの決算額は以下のとおりです。



民生費	131.0億円	福祉のためにかかったお金（こどもや高齢者の福祉など）
総務費	59.9億円	市役所の運営、バスの運行、税事務などにかかったお金
衛生費	42.7億円	ごみ処理、保健・医療などにかかったお金
教育費	53.9億円	小・中学校や公民館などの運営にかかったお金
土木費	25.6億円	道路や河川の整備・維持などにかかったお金
公債費	20.6億円	借金の返済にかかったお金
消防費	19.3億円	消防・防災などにかかったお金
農林水産業費	9.8億円	農林業などの振興にかかったお金
商工費	7.4億円	観光の振興などにかかったお金
その他	5.1億円	市議会や勤労者の福祉、災害の復旧にかかったお金

令和6年度歳出決算額（一般会計）

（単位：千円・％）

款	決算額 (A)	構成比	前年度決算額 (B)	比較 (A)-(B)
1 議会費	286,380	0.8	268,403	17,977
2 総務費	5,986,479	15.9	6,907,038	△ 920,559
3 民生費	13,097,661	34.9	14,095,269	△ 997,608
4 衛生費	4,271,616	11.4	4,514,963	△ 243,347
5 労働費	49,228	0.1	37,244	11,984
6 農林水産業費	983,674	2.6	893,137	90,537
7 商工費	735,084	2.0	726,173	8,911
8 土木費	2,563,100	6.8	2,292,217	270,883
9 消防費	1,928,266	5.1	1,670,545	257,721
10 教育費	5,390,997	14.4	3,485,086	1,905,911
11 災害復旧費	170,059	0.5	109,991	60,068
12 公債費	2,064,547	5.5	1,919,620	144,927
歳出合計	37,527,091	100.0	36,919,686	607,405

4. 家計簿にしてみると

君津市の令和6年度一般会計決算を一世帯あたりの家庭の月平均収入45万円（年間536万円）に置き換えて計算しました。

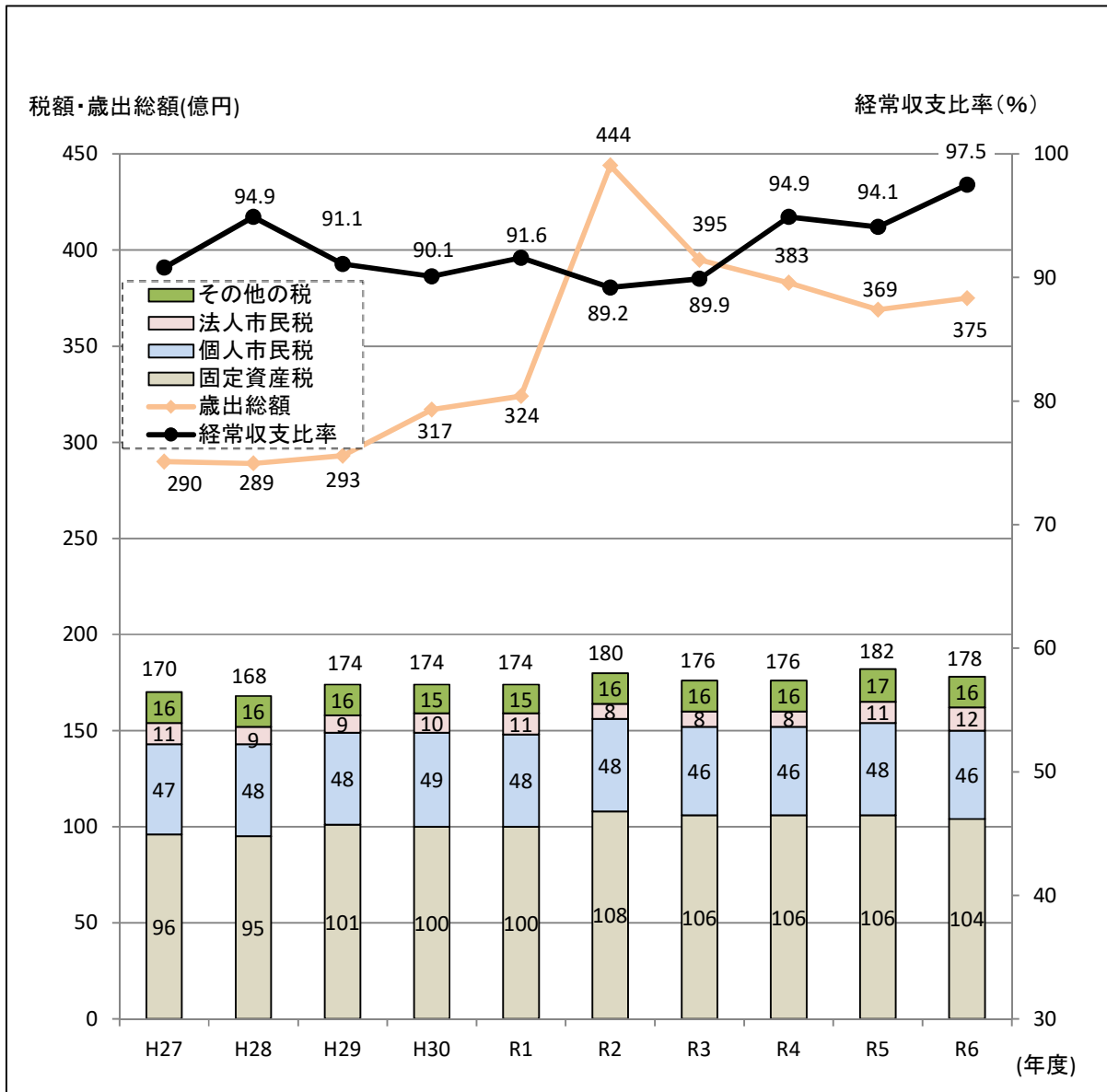
《 き み つ し の 家 計 簿 》

収 入			
項 目（内 容）		金 額	構 成 比
給与	基本給（市税）	20万5千円	45.6
	諸手当（国県支出金、譲与税など）	15万7千円	34.7
パート収入（使用料・手数料など）		2万5千円	5.5
貯金の取り崩し（繰入金）		1万5千円	3.4
前月からの繰越金		2万3千円	4.8
銀行からの借入（市債）		2万7千円	5.9
親からの仕送り（地方交付税）		1千円	0.1
計		45万円	100.0
支 出			
食費（人件費）		9万6千円	22.1
光熱水費など生活費（物件費・維持補修費）		8万1千円	18.8
医療費（扶助費）		10万4千円	24.1
家具や電化製品の購入費（普通建設事業費・災害復旧費）		5万1千円	11.9
ローンの返済（公債費）		2万4千円	5.5
子どもへの仕送り（繰出金・補助費）		6万1千円	14.2
貯金の積み立て（積立金）		7千円	1.6
その他雑費（貸付金など）		8千円	1.8
計		43万2千円	100.0

収入45万と支出43万2千円の差額1万8千円は翌月へ繰り越します。

5. 君津市の財政状況について

君津市の市税収入、歳出と経常収支比率の推移(決算額)



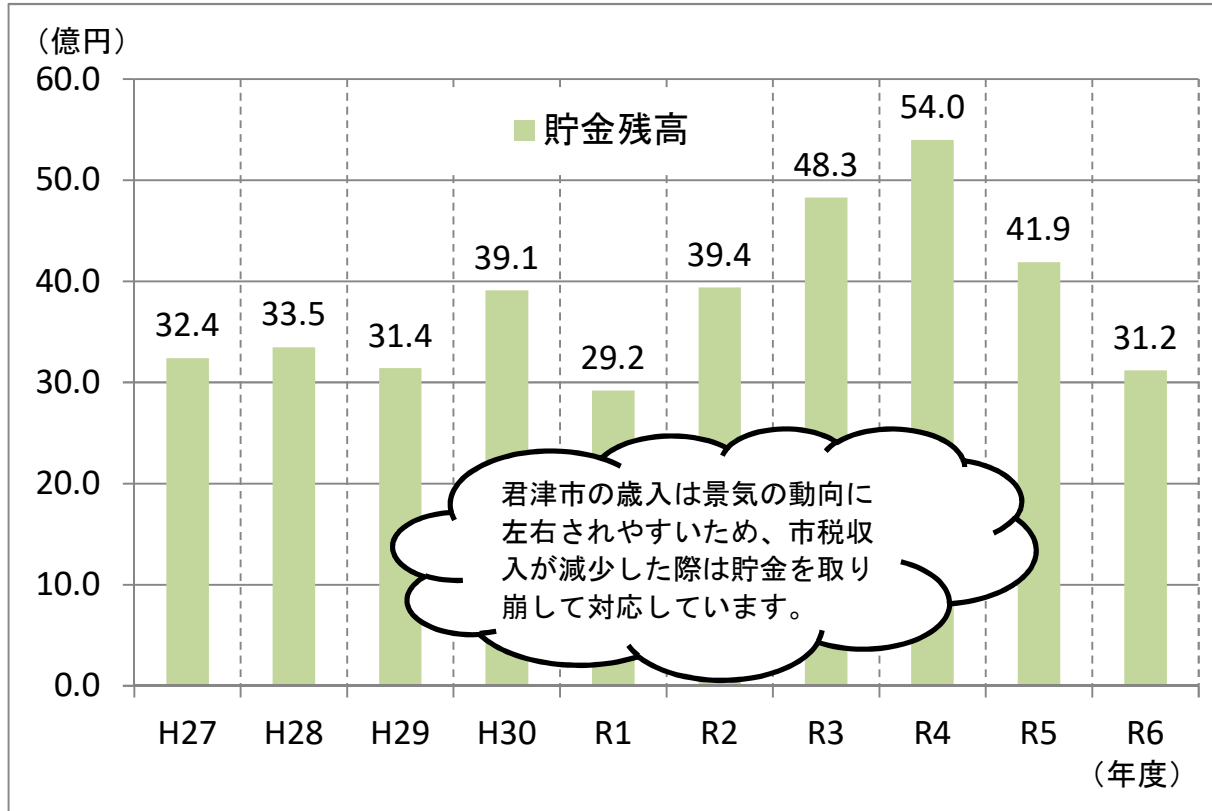
固定資産税などが、一定の水
準を維持しています。
歳出総額は、臨時の交付金な
どにより高い水準を維持して
います。

経常収支比率は、
人件費や社会保障関係費
の増などにより、
高い水準にあります。

※経常収支比率とは

使いみちに制限のない収入に対して、給料、借金の返済、福祉にかかる費用をはじめ、通常必要とされる費用を支払ったお金の割合のことをいいます。この割合が低いと、施設の整備、災害復旧、新たな市民サービスなどへ柔軟に対応することができます。

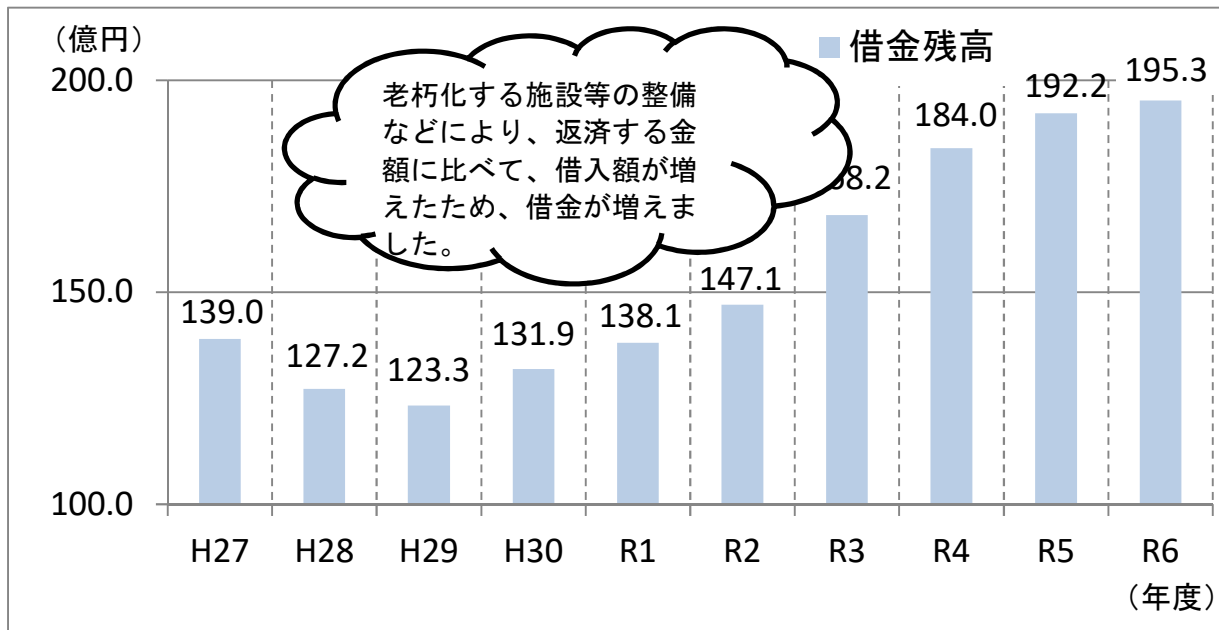
君津市の貯金（財政調整基金※）残高の推移



※財政調整基金とは

景気の影響など、市税収入が年度によって増減するため、収入が不足することがあります。このような場合に備えて年度間の不足に対応するため設置しているものです。

君津市の借金（市債残高）の推移



6. 君津市の財政は健全なの？

自治体の財政の健全性を示す4つの指標があります。令和6年度決算に基づき算定したところ、いずれの指標についても国が定める基準を下回っており、健全な状態でした。

国が定める基準

【健全化判断比率(単位:%)】

4つの指標	君津市の算定結果	国が定める基準	
		早期健全化基準	財政再生基準
実質赤字比率	赤字なし	12.45	20.00
連結実質赤字比率	赤字なし	17.45	30.00
実質公債費比率	5.1	25.0	35.0
将来負担比率	35.3	350.0	-

実質赤字比率…収入に対する一般会計などの赤字の割合

連結実質赤字比率…収入に対する全会計を含めた赤字の割合

実質公債費比率…収入に対する借金返済の占める割合

将来負担比率…1年間の収入総額に対する既に将来支払うことが決まっている総負債額の割合

※地方公共団体は、健全化判断比率（4つの指標）のいずれかが早期健全化基準以上である場合には、「財政健全化計画」を定めなければなりません。また、実質赤字比率、連結実質赤字比率、実質公債費比率のいずれかが財政再生基準以上である場合には、「財政再生計画」を定めなければなりません。

7. 今後も大丈夫？

現在、君津市の財政状況は健全に保たれています。

しかし、少子高齢化に伴う生産年齢人口の減少などにより、今後、税収の大幅な増加を見込めない状況にあります。

また、社会保障関係費の増加や都市基盤・公共施設の長寿命化対策など、財政需要は年々増加する傾向にあります。

経常的経費の抑制や業務効率化の推進などにより財政の健全性を維持しながら、市民みなさまのニーズを的確に把握し、将来にわたり持続可能な行財政運営に努めていきます。